

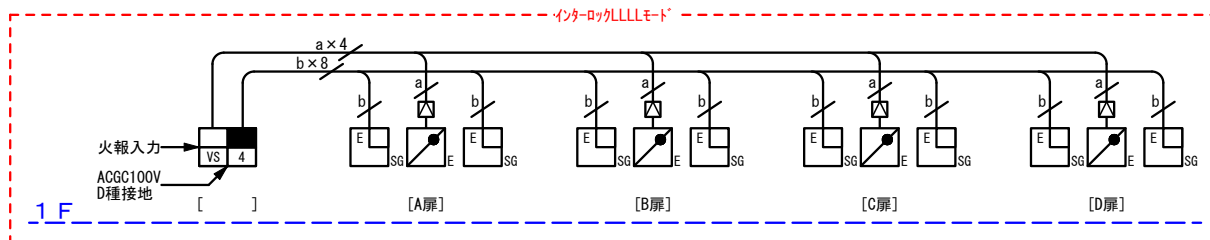
## 1. システム概要

本システムは電気錠扉4箇所を対象とします。  
 ・電気錠扉4箇所を連動し、インターロック制御します。  
 ※他社との連動に関しては、別途打ち合わせが必要です。

- 電気錠制御盤 (BAN-VS4) を1台設置し、接続される電気錠扉を集中して制御・監視・操作します。  
 電気錠制御盤 (BAN-VS4) は、
    - 電気錠4回線をインターロック制御します。
    - 各扉の状態(扉の開閉、施錠、警報)を操作盤面上に表示します。
    - 盤面操作により、各扉(電気錠)を個別に解錠/施錠/一回解錠できます。
    - 盤面操作により、制御している扉(電気錠)を一齐に解錠/施錠できます。但し、インターロック制御中に、盤面上で操作するとインターロック制御が出来なくなります。
    - 火報盤からの火災発報信号により、制御している扉(電気錠)を一齐に解錠します。復旧方法は、火報入力切れた後、全扉を閉扉状態にし、施錠操作(キーで施錠、もしくは解錠ボタンを押す等)することでインターロック制御状態に戻ります。
- ※LTEによる無線通信機能を内蔵しており、自動でソフトウェアのアップデートが可能です。  
 LTEによる無線通信ができない場所に設置する場合は、弊社ホームページよりアップデートファイルをダウンロードし、アップデートしてください。

- 操作表示器 (SSP-G1E) を8台設置し、それぞれ対応する電気錠扉を監視・操作します。  
 操作表示器 (SSP-G1E) は、
  - 扉の状態(扉の開閉、施錠)を操作盤面上に表示します。
  - 操作者の盤面操作により、扉(電気錠)を個別に一回解錠できます。

## 2. システム系統図



### 凡例

多回線電気錠制御盤 BAN-VS4 (F) CPEV-S 1.2-2P 配線距離は表1参照

操作表示器 SSP-G1E (F) CPEV-S 0.9-2P 配線距離は100mまで

2線変換アダプター AD311

電気錠 錠種未定

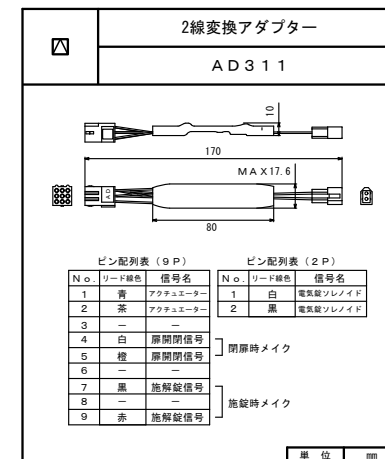
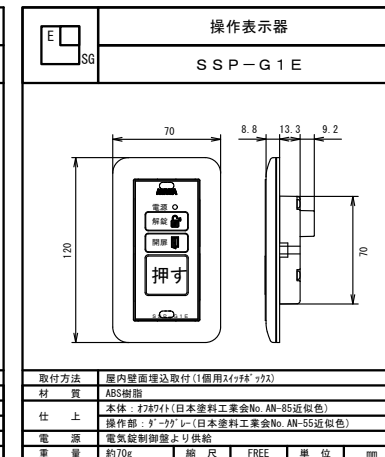
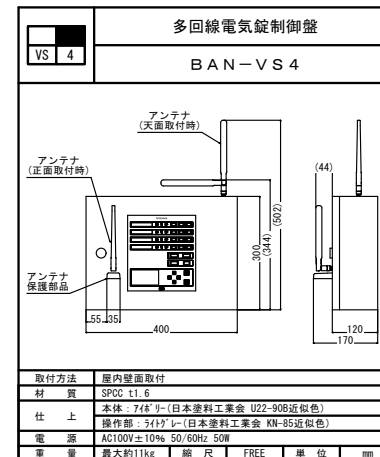
配線は予備線を含む。  
 配管・配線・電源は別途工事。

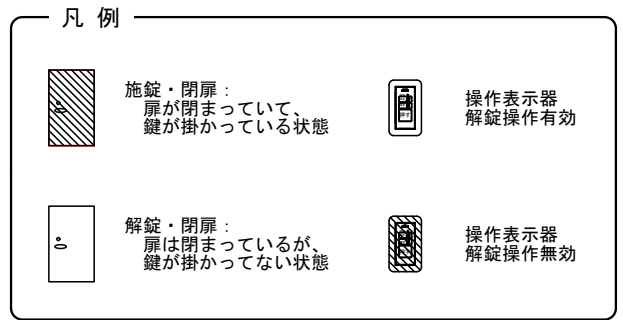
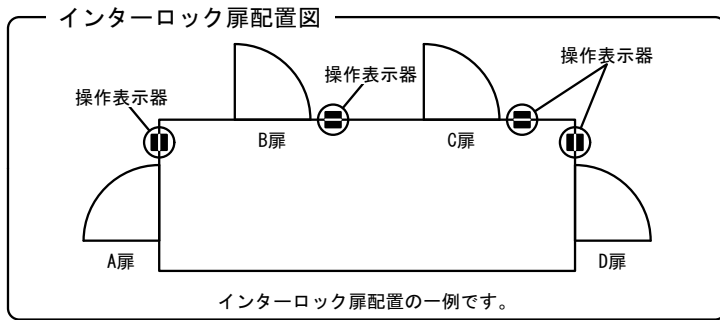
表 1

配線距離  
 適用：BAN-VS4, BAN-VS8, BAN-VS12B, BAN-VS16B, BAN-VS20B, BAN-VS24B, BAN-VS28B, BAN-VS32B

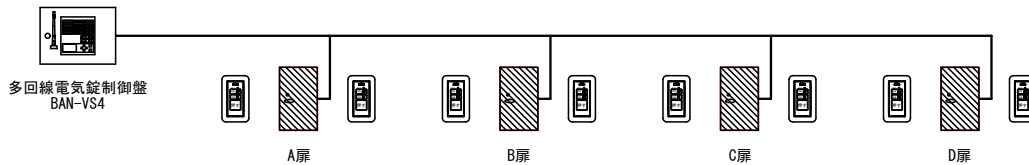
電気錠 線径	電気錠～制御盤間 (m)				
	ASE	AL4M ALN AFG	ALA ANS ALG50 AUS	AMS, AUT/R (A), AEPT ALGT/R50, APPT/R (A) APBT/R, EM2L600 EL-101, AST/R, AD219	ASZ
DENコード9C (断面積 0.3 mm <sup>2</sup> )	10	20	30	40	60
0.65 mm	20	25	50	60	75
0.9 mm	40	40	80	120	120
1.2 mm	60	60	120	180	180
1.6 mm相当	100	100	190	300	300
2.0 mm相当	160	160	300	480	480

## 3. 外観図

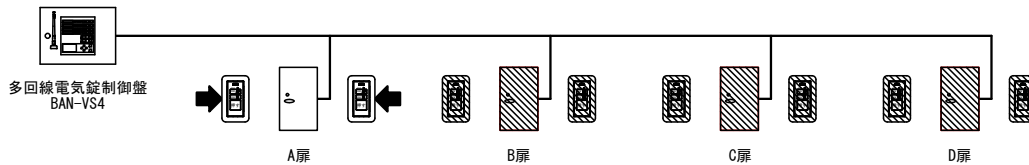




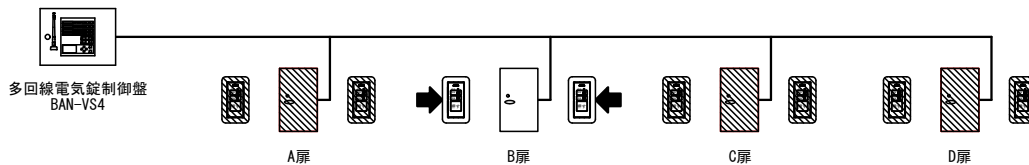
- 1) 通常、待機時(A・B・C・D扉、全て閉扉の時)、A・B・C・D扉は施錠しています。  
A・B・C・D扉は操作表示器による解錠操作を行うことができます。(初期状態)



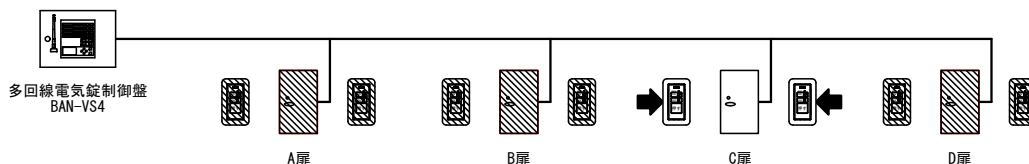
- 2) 操作表示器による解錠操作でA扉を解錠すると、B・C・D扉は操作表示器による解錠操作が無効となります。  
A扉を閉扉し、施錠すると初期状態に戻ります。



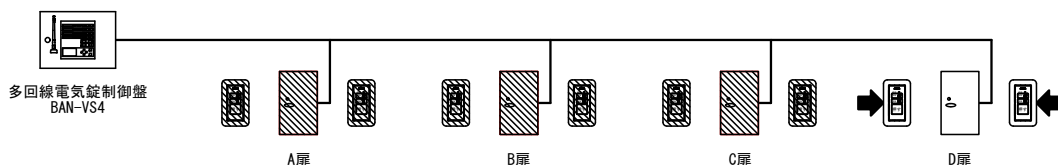
- 3) 操作表示器による解錠操作でB扉を解錠すると、A・C・D扉は操作表示器による解錠操作が無効となります。  
B扉を閉扉し、施錠すると初期状態に戻ります。



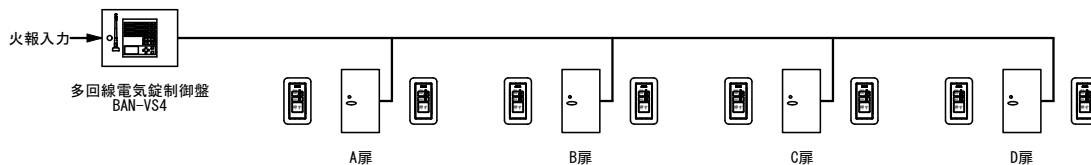
- 4) 操作表示器による解錠操作でC扉を解錠すると、A・B・D扉は操作表示器による解錠操作が無効となります。  
C扉を閉扉し、施錠すると初期状態に戻ります。



- 5) 操作表示器による解錠操作でD扉を解錠すると、A・B・C扉は操作表示器による解錠操作が無効となります。  
D扉を閉扉し、施錠すると初期状態に戻ります。



- 6) 火報信号を入力すると、全ての扉は一斉解錠し、インターロック制御しなくなります。  
火報信号が切れ全ての扉が閉扉し、施解錠操作(キーで施錠もしくは解錠ボタンを押す等)するとインターロック制御に戻ります。



※2線式電気錠操作盤の盤面操作は  
行わないでください。  
インターロック制御が崩れます。